ぶんへん
Journal
第10号
2026（R8）年7月23日
山形県立寒河江高等学校
新聞部

心を燃やし最後まで戦い抜いた姿と思いをつなぐ夏

全国高校野球選手権山形大会、本校野球部は1、2回戦を突破し、コロナ禍でできずにいた全校応援の中で3回戦を熱く戦った。各部、全国への布石となる東北大会も行われ、インターハイでの活躍が期待される。

狙いを定めて、スイングする黒田真登選手（1-4）

野球

2回戦
日時：7月13日
於：WaTaRai鶴岡ドリームスタジアム
○寒河江10－0鶴岡工（6回コールド）
3回戦
日時：7月18日
於：きらやかスタジアム
×寒河江2－9山形城北（7回コールド）
【顧問寸評】
城北戦では、最高の応援のもと、チーム一丸となって熱く戦い抜くことができました。試合には負けましたが、グラウンドから見上げたスタンドの景色はまさに自分たちが追い求めていたものであり、感動しました。ご声援、本当にありがとうございました。
【選手寸評】
3年生にとって最後の大会であるこの大会では、これまでやってきたことを全て出しきることができた。それでもやはり高かった3回戦の壁、1，2年生には、この経験を次に活かしてほしい。暑い中、球場へ足を運んで下さった方々、これまで支えて下さった保護者の方々、そして指導して下さった阿部先生、高橋亮先生、森先生、本当にありがとうございました。

東北大会に進んだ各部大会の結果と、全国大会に進む女子テニス部、バドミントン部、カヌー部にこれからの抱負を聞いた。

2回戦　7/13(月)　WaTaRai鶴岡ドリームスタジアム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
×鶴岡工	0	0	0	0	0	0				0	4	2
○寒河江	0	4	1	3	1	1X				10	10	0

3回戦　7/18(土)　きらやかスタジアム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
○山城北	4	0	0	1	0	3	1			9	12	2
×寒河江	0	0	0	0	0	2	0			2	6	4

水泳

日時：7月17日～18日
第74回東北高等学校選手権水泳競技大会
於：セントラルスポーツ宮城G21プール
【女子】
個人
女子400m自由型
鈴木音羽（1-1）
予選敗退
女子200m自由形
鈴木音羽（1-1）
予選敗退
【顧問寸評】
初めての大舞台であったが、2種目共に県大会よりタイムを縮めることができた。
【選手寸評】
今期のベストを出して、最後まで泳ぐことができました。これからも日々の練習にしっかりと励んでいきたいです。

女子テニス

日時：6月21日～22日
於：山形県総合運動公園
第67回東北高等学校テニス選手権大会
【女子シングルス】
阿部ひまり（1－3）
第3位
1回戦
○寒河江6－0青森東
2回戦目
○寒河江6－4花巻北
3回戦目
○寒河江6－3磐城桜が丘
準決勝
×寒河江2－8相馬
【顧問寸評】
東北大会は土砂降りの中行われたが、粘り強いプレーを見せてくれた。インターハイでも大いに活躍してほしい。
【選手寸評】
東北大会では初のベスト4に入ることができた。しかし、決勝進出への高い壁を感じた。今後はこの壁を突破できるように、日々の練習に励みたい。
【全国大会への抱負】
目標
一回戦突破
課題
大事な場面でポイントをとりきれない。
対策
日々の練習で競った場面を想定して取り組む。

バドミントン

日時：6月13日
於：山形市立山形商業高等学校体育館
ドリーム・カップバドミントン大会山形県予選会
優勝
○正木愛龍（2－4）
【顧問寸評】
図らずとも同校対決の決勝戦となったが、互いに真剣に頂点を目指し粘り強く戦ったことは評価できる。全国で戦う上ではすべをブラシュアップする必要あり。
【選手寸評】
自分の強みであるスマッシュを駆使して試合を有利に進めることができました。またスマッシュの中にカットを入れることで相手を崩すプレーができました。本番まで自分の得意なことをさらに伸ばし、苦手なことを改善していきます。
【全国大会への抱負】
目標
山形県を背負って出場するため一試合でも多く勝ち上位入賞を目指して頑張ります。
課題
相手にフットワークで劣る場面が多くあった。試合後半で調子が狂う時がある。
対策
一歩目で地面を強く蹴って速く移動する。ランドレを通して基礎体力を向上させる。

カヌー

【全国大会への抱負】
目標
東北だけでなく、すべての大会をインターハイに向けて着々と進めていると感じます。目標は女子総合2連覇です。
課題
スタートで出しすぎてしまう、スピードに乗るのが遅くなるなどのレース展開や、メンタルのブレなどが全体の課題です。
対策
良いところは自信に、悪いところは向き合うが、重く受け止めすぎないように練習に励みます。そして現在の漕ぎに満足することなく、レースの数秒前まで考え続けます。

“WE ARE 寒高” いざ大会へ

7月8日(水)体育館にて、各種の大会に向けた壮行式が行われた。生徒会長は激励で、全校生徒と一緒に「エイエイオー」の掛け声で選手たちを鼓舞した。有志応援では、卓球部による「ようかい体操第一」の披露があり、卓球部員は選手達へのエールが感じられるように精一杯踊っていた。それに応えるように、吹奏楽部による「斐伊川に流るるタンナダ姫の涙」の演奏が行われた。息をのむような美しい音色に、会場は拍手の嵐に包まれ、選手たちのやる気も高まりながら締めくくられた。選手達には、後悔が残らないように、最後まで精一杯戦ってほしい。

ダンスでエールをおくる卓球部

大会に臨む選手一同

編集者　杉沼琉唯（1-1）